



---

1987年にこのチャリティーランを始めたのは、スポーツ家であり、タレントとしても有名なチャック・ウィルソン氏です。彼は2011年まで25年の間、ずっと委員長として尽力され、このイベントを全国規模になるまで発展させてくれました。

---

### 「25年間の思い」

約30年前、私は全国的に顔が知られるようになっていました。有名人になるということは良い面も悪い面もありますが、ある日、古くからの友人から、この知名度をもって、恵まれない人たちのために活かしてみないかと話がありました。私は、人々のために何かができるよい機会かもしれないと考えました。私は、特に信心深いわけではないのですが、この機会に、まさに神様が私の賜物を用いるために与えてくださったものと感じられました。

私は、チャリティーランをやろうと企画しました。第1回チャリティーランは、東京YMCAの協力を得て、皇居周縁で開催、約80チームが参加し、大盛況に終わりました。そのときに、手足に補助具をつけた10歳の女の子と一緒に準備体操をしたのを、私は今でもよく覚えています。彼女は、このチャリティーランを続けていく勇気と強い決心を、その場にいる全員に与えてくれたように思います。

25年は長い道のりでした。今では全国16の都市で開催され、何千人ものランナー、サポーター、ボランティアが参加するイベントとなりました。そして、数え切れないほど多くの障がいを持った子どもたちを支援してきました。協力してくださるボランティアのみなさんの思いや優しさは、隣人への愛そのものです。もし神様が私たちをご覧になっているのであれば、この25年間にチャリティーランに参加した人たち全員に神様は微笑んでくださっているだろうと、私は確信しています。

これまでチャリティーランに参加してくださったすべての方に感謝の意をこめて。

2011年9月

チャック・ウィルソン